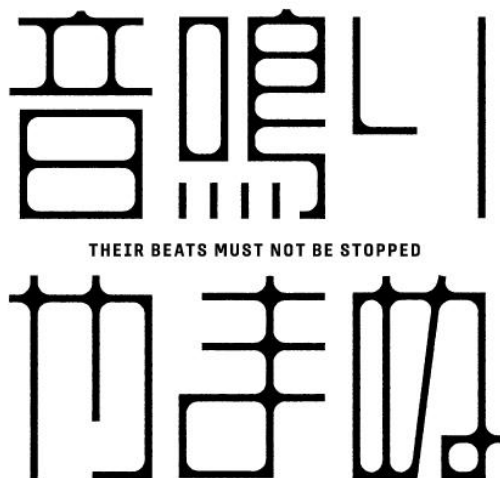


## メガタウン池袋の東西に連綿と伝わる民俗芸能の現在を追った ドキュメンタリー映像作品『音、鳴りやまぬ。』公開

少子高齢化、コロナ禍…時の流れに直面する3つのまつり。  
都会に息づく民俗芸能の知られざる姿を記録した  
ドキュメンタリー映像作品の試写会&トークを開催します。

公益財団法人としま未来文化財団（所在地：東京都豊島区、理事長：高野之夫）は、豊島区指定無形民俗文化財「長崎獅子舞」「富士元囃子」「雑司ヶ谷鬼子母神御会式万灯練供養」の現在を追ったドキュメンタリー映像作品『音、鳴りやまぬ。』を制作しました。2022年3月6日（日）に、としま区民センター多目的ホール（住所：豊島区東池袋1-20-10）にて試写会&トークを開催、本編を初公開します。

【URL】<https://otonari.toshima-pjt.jp>



『音、鳴りやまぬ。』は、豊島区に連綿と伝わる「長崎獅子舞」「富士元囃子」「雑司ヶ谷鬼子母神御会式万灯練供養」の現在を追ったドキュメンタリー映像作品です。

コロナ禍でお祭りや地域行事の中止が相次ぎ、豊島区でも毎年開催している民俗芸能公演が2021年は中止を余儀なくされました。そしてこの事がきっかけとなり、地域の民俗芸能を記録する本プロジェクトがスタートしました。

なぜ「まつり」は変わりゆく時代の中でも人々を魅了し続けるのでしょうか。秋から冬3か月に渡り、長崎獅子連、富士元囃子連中、御会式連合会の方々を中心にインタビュー取材を重ね、それぞれの視点で語られる想いを映像に収めていきました。

都会に息づく民俗芸能の知られざる姿を記録したドキュメンタリーを、たくさんの方にご覧いただけたらと思っています。

## ドキュメンタリー映像作品『音、鳴りやまぬ。』 作品概要

メガタウン池袋の東西に今も残る3つの「まつり」。

少子高齢化、コロナ禍…時の流れに直面しながら、それでも「音」は鳴り続ける。

出演：長崎獅子連、富士元囃子連中、雑司ヶ谷鬼子母神御会式連合会 ほか

監督：長岡 参

製作：EVOLUTION

企画制作：公益財団法人としま未来文化財団

2022年/日本/60分（予定）

公式WEBサイト：<https://otonari.toshima-pjt.jp>



### 長岡参監督 プロフィール



映画作家。株式会社エヴォリューション取締役。1979年、千葉県四街道市生まれ。フリーランスとして東京で様々なクリエイティブの仕事に従事した後、より本質的な暮らしとは何か？を考え、それを映像化するべく2010年に拠点を徳島に移し、民俗学的／文化人類学的視座と、一生活者としてのリアルな感覚の間に立ちながら作品制作を開始。代表作に全国の限界集落を探訪したドキュメンタリー映画『産土』や、6年間に渡り1人の老美容師を追い続けた『神山アローン』等がある。



### お客様からのお問い合わせ先

公益財団法人としま未来文化財団 事業企画グループ

TEL：03-3590-7118（平日 10 時～17 時）

e-mail：event@toshima-mirai.or.jp

### 本リリースに関する報道お問い合わせ先

公益財団法人としま未来文化財団 企画制作部 事業企画第 1 課 事業企画グループ

担当：宮本、御子柴

TEL：03-3590-7118

e-mail：minzoku@toshima-mirai.or.jp